


中小企業の生き残り作戦！



IMC 未来職人 こだわりの仕事



中堅・中小製造業の コンカレント経営(1)

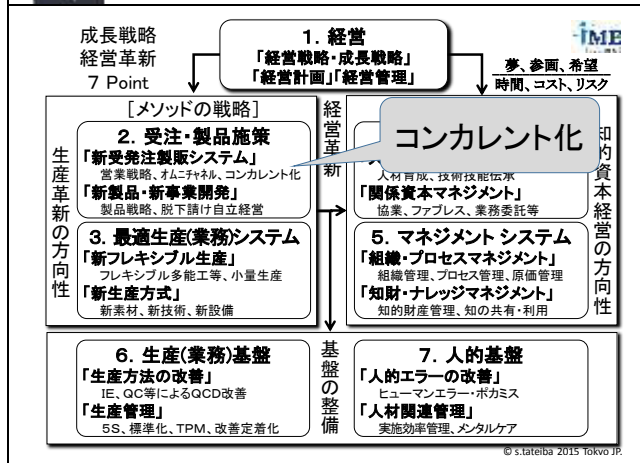
経営のコンカレント化
「情報の共有化」と「業務の同時並行化」

株式会社 IMEコンサルティング
代表取締役 立居場誠治

定期経営セミナー開催予定

- ・場所
大田区産業プラザ(Pio) 蒲田
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20
TEL:03-3733-6600
- ・日時
6月19日(金) F会議室
7月24日(金) F会議室
8月21日(金) F会議室
18:30から1.5~2時間程度
- ・テーマ
・企業経営関連のテーマを時期と希望により選定する



1 コンカレントの意味

- ・コンカレント (concurrent) 形容詞
 - 1.同時(発生)の, 伴う [...と]同時に起こって[with]
 - 2.共同に作用する, 協力の
 - 3.一致の, 同意見の
- ・企業においては、さまざまな業務を同時並行的に処理すること


2 業務の同時並行化の必要性

2.1外部環境

- ・社会情勢
- ・市場・顧客
- ・変化・進化の早さ

2.2内部環境

- ・受注形態・内容の変化
- ・設計対応の変化
- ・生産の変化
- ・経営の変化



「納期短縮」
「コストダウン」
「売上増」
「成長戦略」新製品、顧客開拓
「人材育成と知的資本増強」

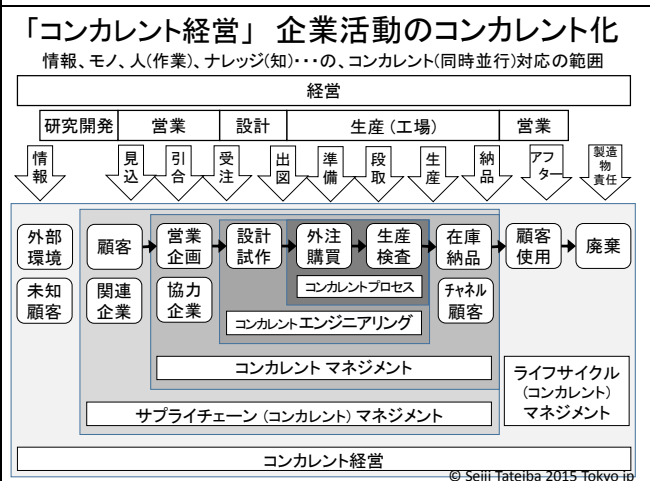
3 コンカレント化の目的

- (1) 業務をコンカレント化する意味
- (2) コンカレント化の条件
- (3) 業務のコンカレント化の目的
- (4) 会社の顧客提案価値とコンカレント化の期待効果

4 コンカレント化の範囲の考え方

- ・企業活動のコンカレント化
- ・情報、モノ、人(作業)、ナレッジ(知)・・・の、
- ・コンカレント(同時並行)対応の範囲

- (1)コンカレントプロセス
- (2)コンカレント エンジニアリング
- (3)コンカレント マネジメント
- (4)サプライチェーン (コンカレント) マネジメント
- (5)ライフサイクル マネジメント
- (6)コンカレント経営



II. コンカレント経営導入の要領

1. コンカレント化の目的・目標設定
2. 範囲の設定
3. 機能分担の明確化
4. 情報・モノの流れの明確化
5. 業務遂行の情報・ナレッジ体系分析
6. 各機能の業務遂行の条件選定
(準備・着手の条件)
7. 情報・モノのマネジメントシステム構築

1. コンカレント化の目的・目標設定

- 何の為にコンカレント化を志向するのか、目的を明確にする
- どのレベルまでのコンカレント化効果を望むのか、目標を設定する
- 設定資料：
 - 受注・納期状況、顧客都合、競争の状況
 - 自社都合、あるべき姿の追求、改善の観点等

2. 範囲の設定

- 狙いとするコンカレント化の範囲を設定する
- スモールスタート、一斉スタート

- (1) コンカレントプロセス
- (2) コンカレント エンジニアリング
- (3) コンカレント マネジメント
- (4) サプライチェーン (コンカレント) マネジメント
- (5) ライフサイクル マネジメント
- (6) コンカレント経営

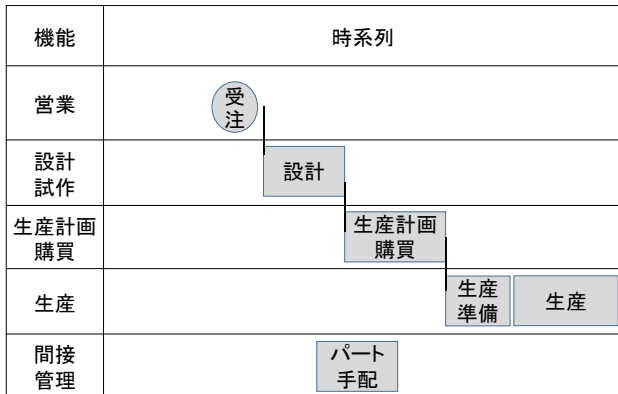
3. 対象範囲の機能分担の明確化

各機能の業務内容とその業務の流れを工程図で明確にする

機能名	Process	各機能の工程図
営業	顧客訪問 製品説明 受注契約	
設計 試作	仕様設定 図面作成 試作	
生産計画 購買	生産計画 原材料管理 在庫管理	
生産	生産管理 設備管理 生産活動	
間接管理 業務	採用 人材育成 法令順守	

4. 情報・モノの流れの明確化

対象機能範囲(部門)の現状の業務の流れをチャートで明確にする



5. 業務遂行の情報・ナレッジ体系分析

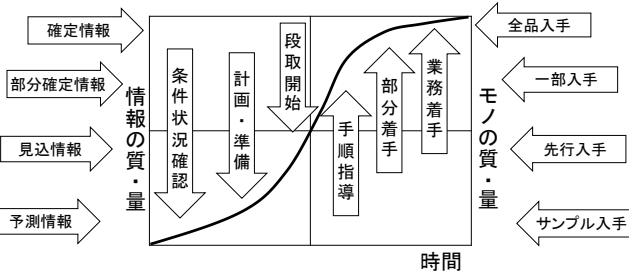
各機能(部門)でInputして使用する情報やモノと業務によりOutputされる情報、モノ、ナレッジについて把握する

機能名 (部署名)	Input 情報/モノ (出所)	Process 業務内容	Output 情報/モノ (提供先・利用者)	知的資本 形式・組織	ナレッジ 暗黙・個人
営業	顧客要望 顧客情報	顧客訪問 製品説明 受注契約	顧客仕様書 サンプル 契約書	インタビューシート 顧客管理表 営業日報	顧客とのバイブ 営業、インタビュー 技能、説明能力
設計 試作	仕様書(営業) 設計図書	仕様設定 図面作成 試作	3DCAD-Data 設計図 試作品	設計図書 改善提案書 特許・実用新案・商標	CAD技能 開発アイデア 設計ノウハウ
生産計 画購買	受注情報 機能要件 納期情報 現場情報	生産計画 原材料管理 在庫管理	生産計画 工程設計 現品表 原材料	生産管理システム 外注購買管理表	システム会社コネ 購買先情報 外注先担当とのコネ
生産	仕様・図面 標準・基準 工程設計	生産管理 設備管理 生産活動	作業手順書 指示書 製品	是正処置報告書 製造日報	改善アイデア 技術技能ノウハウ
間接・管 理業務	採用要望書 人材管理表 力量評価表	採用 人材育成	パート採用 免許取得 教育訓練	採用基準	派遣会社のコネ

6. 各機能の業務遂行の条件選定 (準備・着手の条件)

すべてがそろそろ前に、次工程が段取・着手できるようにするには？

- 情報 予想・見込情報など
- モノ サンプル入手、分轉搬入など
- 人(作業) 確認、準備、着手・・・配員、応援、空時間利用等で対応



7. 情報・モノのマネジメントシステム構築

- 業務の同時並行化、先行着手を実現するには、
- 上流工程では、各時期ごとの活動・管理・情報・Outputなどがどうなっているのかを明確にする
- 下流工程で行う活動・管理、必要な情報・Inputなどは、どんなものがあるかを明確にする
- 情報やモノの提供による、同時並行、先行着手の実現を模索する
- 各機能の情報・モノを他の機能で利用したら、何が前倒しできるか？